

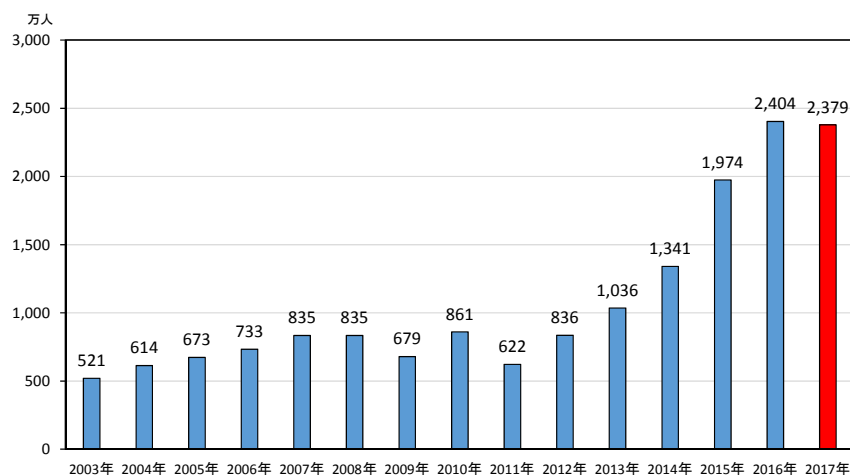
平成29年度 豊川インバウンド促進事業に係る委託業務 実施概要 (豊川商工会議所 委託事業)

1. 業務の目的

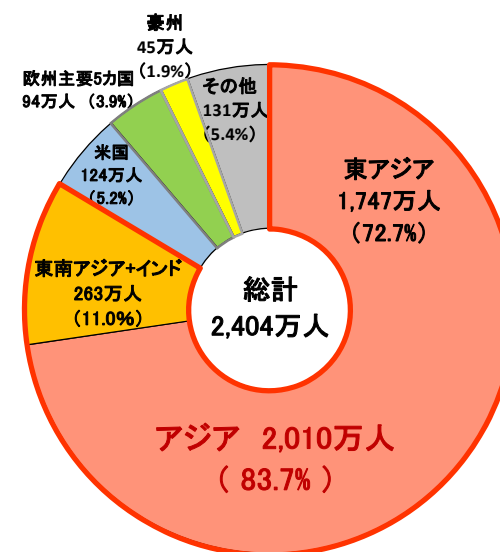
東三河地域はゴールデンルートの中央に位置しているため、すでに多くのツアー客がこの地を訪れてはいるが、この地域の外国へのPRや外国人観光客への対応はいまだ十分といえる水準ではなく、地域としていかに質の高い対応をし、豊川エリアの魅力を高めていけばいいのか、地域全体で考えていかなければならない課題となっている。

このため、関係団体・機関と連携し、外国人受入の実態調査、豊川市の紹介サイト構築、観光パンフレットの作成、「民泊」及び「おもてなし」をテーマとした意見交換会や、インバウンドに係るセミナーの開催、留学生による意見交換などを実施し、豊川市における外国人を対象とした観光戦略の構築と内外からの観光客を呼び込む具体策を検討、提案した。

2. 調査結果(一部抜粋)



国・地域	確定値
総数	24,039,700
1 中国	6,373,564
2 韓国	5,090,302
3 台湾	4,167,512
4 香港	1,839,193
5 米国	1,242,719
6 タイ	901,525
7 豪州	445,332
8 マレーシア	394,268
9 シンガポール	361,807
10 フィリピン	347,861



■訪日外客数の推移

日本の外国人訪問者数は2016年は2404万人であり、2017年はその数を越えることが予測されている。
2003年～2016年の値は確定値、2017年1月～8月の値は暫定値、9月～10月の値は推計値

■訪日外国人旅行者数市場別内訳(2016年)

訪日外国人旅行者数の内訳は、アジアが全体の8割を越え、中国、韓国、台湾の順に多い。
出典：日本政府観光局(JNTO)※グラフはビジット・ジャパン事業重点20市場の地域別構成比。